

トリム電解水素水サーバー (THS1-10P) 設置工事説明書(Ⅱ)

お客様に満足してお使いいただくために、この設置工事説明書をよくお読み
のうえ正しい設置工事をお願い致します。

目次

・設置条件について		P1
・設置の注意		P1
・設置時の注意		P1
・各部の名称、外形寸法		P2
・設定パネル、タッチパネル		P2
・1給水フレキパイプの取り付け		P3
・2排水ホースの取り付け		P4
・3通水洗浄および動作確認		P5
・4使用部品		
◎標準部品		P6
○推奨部品		P6
・☆部品表		P7
・★排水ホースについて		P8
・◇施工例(1)～(3)		別1/3～3/3



株式会社日本トリム

設置条件について

トリム電解水素水サーバーの設置は、管工事施工管理技士1級又は2級の
有資格者が実施すること。

また、給排水配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市町村の
条例規定に準じておこなうこと。

また、電源(AC100V)アース付きのコンセントの電気工事は、AC100Vコンセント
工事、D種(第3種)設置工事の有資格者が行ってください。

トリム電解水素水サーバーの設置にあたり、事前に設置場所の確認を行って
ください。設置下見にあたり次のチェックシートをご使用ください。

『トリム電解水素水サーバー(THS1-10P)設置下見チェックシート(Ⅱ)』

また、次のような設置場所では電気工事及び、給水/排水等の配管工事が
必要です。

- 給水管および排水設備がない場所
- 電源(AC100V)アース付きのコンセントがない場所
- 給水される水が飲用適でない井戸水や地下水
- 給水圧力が0.15～0.7MPa以外の場所
(取り付けできない可能性もありますのでご注意ください。)

設置の注意

- ①排水ホースは、適切な長さにカットし無理な配廻し等はしないでください。
 - ②排水は、逆流・臭気等の対策を必ず行ってください。(排水トラップ等)
 - ③給水は、必ずフレキパイプ(標準品)で設置すること。
- ※給水部が離れている場合は、塩ビ配管にて設置場所まで
配管工事をしてください。

※本説明書には基本手順及び施工例を記載していますが設置環境により
工事方法や使用部品が異なります。
標準部品/推奨部品を記載していますが、本器には付属していません。
事前確認の上、設置場所に合った部品を前もってご準備ください。
また、部品の無理な加工改造はしないでください。
誤った取り扱いにより水漏れを起こしますと物的損害となります。
設置後、十分な確認をお願いします。
※本器についての仕様等の詳細は、別紙『サービスガイド』を参照ください。

設置時の注意

警告



電源は交流100Vで、定格15A以上の
コンセントを単独で使う
交流100V以外で使ったり、コンセントを他
の器具と同時に使ったり、延長コードを使っ
たりすると、火災、感電の原因になります。



給排水配管工事は関連する法規・規定に
従って法的有資格者によって実施すること
故障の原因になります。



アースを接続する
漏電時に感電する原因になります。
アースはガス管や電話回線のアースなど
に接続しない
火災の原因になります。



アース工事は、電気設備技術基準等関連す
る法令・規則などに従って、必ず「法的有
資格者」が行う
アースが不完全な場合は感電の原因になり
ます。

注意



必ず上水道に接続してください
取水源に貯水槽や浄化装置がある水道の
場合は日本トリムのフリーダイヤル(裏表紙)
にご相談ください。
飲用に適さない水の場合は健康を害する
恐れがあります。



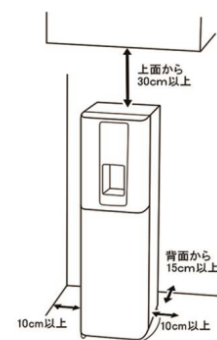
給排水配管工事は関連する法規・規定に
従って法的有資格者によって実施すること。
健康を害する恐れがあります。



設置するときは、上部30cm以上、片面
10cm以上、背面15cm以上のスペースを設
け、製品背面左側のブレーカの操作が出
来るように設置してください。
コンデンサの風量が低下し、製品が短時間で
故障する恐れがあります。
製品に異常があった際に直ちに電源を落とせ
ず被害が拡大する恐れがあります。



水平で安定した所に設置する
転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因になり
ます。



水道圧は0.15MPa～0.7MPaの範囲とする
故障の原因になります。



直射日光が当たる場所(窓越しも含む)や
暖房機器の近くなど、高温になる場所
には設置しない
故障の原因になります。紫外線で樹脂部品の
退色や変色、劣化が進み故障の原因になり
ます。



屋外(風雨にさらされる場所)に設置し
ない
感電・故障の原因になります。この製品は屋内
専用です。



凍結の可能性のある場所へ設置しない
水漏れの原因になります。



運搬は2人以上で行う
1人で運搬すると、本体が落下してけがの原因
になります。

警告



サーバーの上に物や水の入った容器を置
かない
上に置いた物が点灯したり壊れたりして、それ
が原因により、感電・火災・故障の原因になり
ます。



夜間や長期間使用しない場合でも電源を抜
かない
タイマー設定による加熱殺菌が出来ず、水を衛
生的に保つことができなくなり、雑菌により健康
を害する恐れがあります。

注意

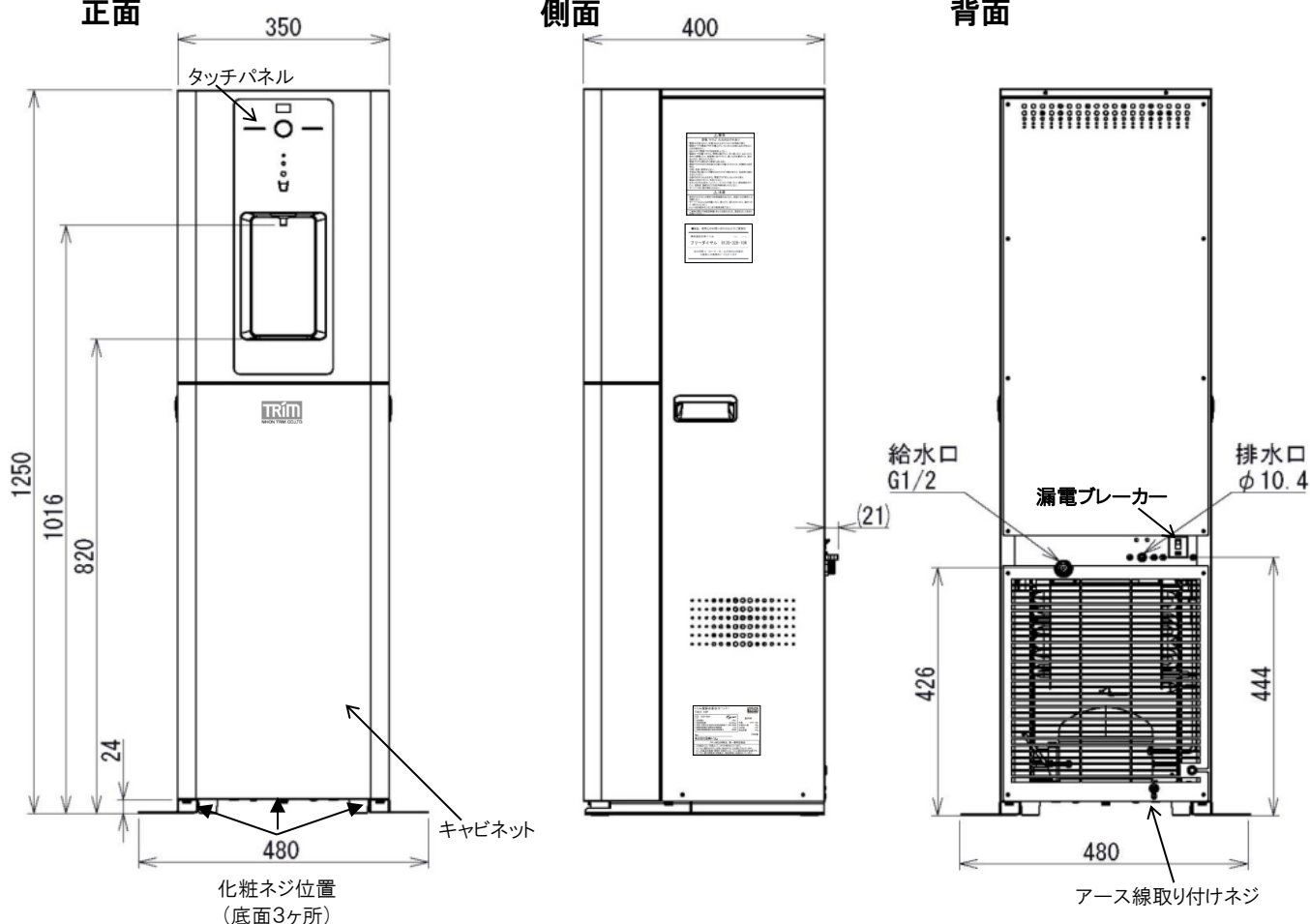
各部名称、外形寸法

※寸法単位:mm

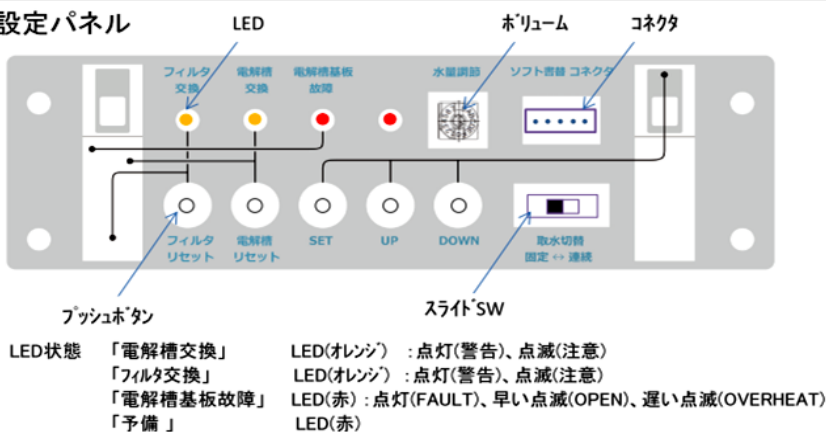
正面

側面

背面

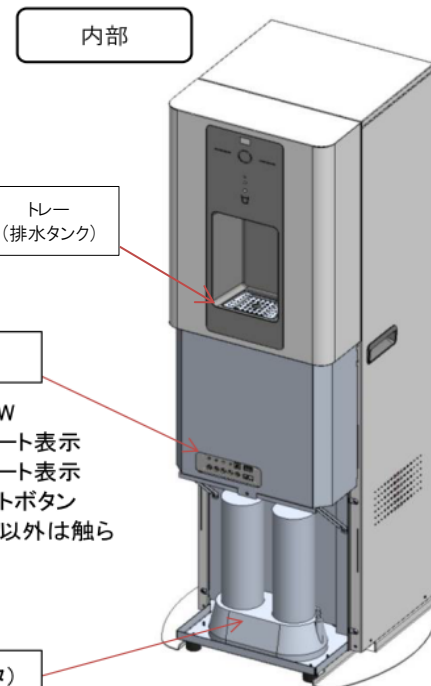


◇設定パネル



●キャビネットを取り外した状態

(底面の化粧ネジを緩めることで取り外し可能)



◇タッチパネル



- ・取水モード切り替えSW
 - ・浄水器交換時期アラート表示
 - ・電解槽交換時期アラート表示
 - 〃 交換後のリセットボタン
- 但し、サービススタッフ以外は触らないでください。

浄水器カートリッジの交換作業はサービススタッフが実施します。浄水器本体は取り出せません。

1 給水フレキパイプの取付け

※フレキパイプで取り付けてください。

- 1) 設置場所に合わせ、給水工事をしてください。
給水部が離れている場合は、給水管から水道用塩ビ管で本体近くまで配管工事をしてください。
- 2) 水素水サーバー側にフレキパイプ(1m)を接続してください。
注意① フレキパイプは、接続前に設置の状態に合わせ折り癖をつけてください。
注意② フレキパイプの折り曲げは、余裕を持った状態の折り曲げをしてください。

配管工事例

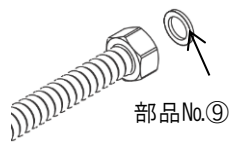


塩ビ配管

- 3-1) 本体接続のフレキパイプを給水管に接続する。

◆配管工事の場合：塩ビ配管工事を行い給水配管部と接続する。(別3/3参照)

※接続用パッキンは、
ノンaspパッキンのこと



部品No.⑨



フレキパイプ



塩ビ配管工事



フレキパイプと接続

【設置例】



壁から15cm以上

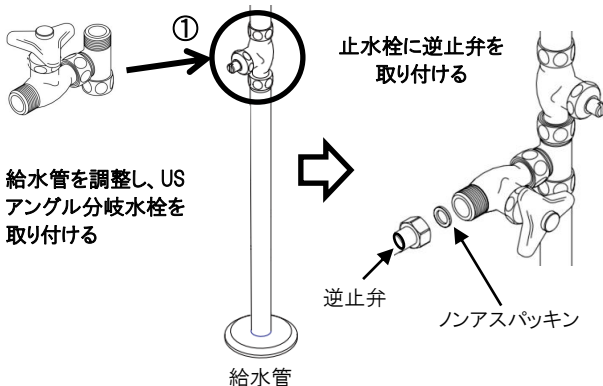
- 3-2) 本体接続のフレキパイプを給水管に接続する。

◆直接フレキパイプで設置の場合：給水管工事を行い給水部品と接続する。

- ① 給水管にUSアングル分岐水栓または、止水栓を取り付けその先に逆止弁を取り付ける。
- ② 取り付けた逆止弁に、本体に接続したフレキパイプに接続する。

【設置例】

●部品No.④USアングル分岐水栓、部品No.⑦逆止弁、部品No.⑨ノンaspパッキン、⑥ナット付エルボ



給水管を調整し、US
アングル分岐水栓を
取り付ける

止水栓に逆止弁を
取り付ける

逆止弁

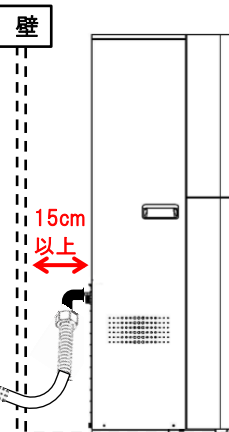
ノンaspパッキン

給水管

- ② 準備したフレキパイプを
本体側に取り付け後、
給水管に取り付ける。
本体を壁から15cm以上
あけ設置する。



フレキパイプ



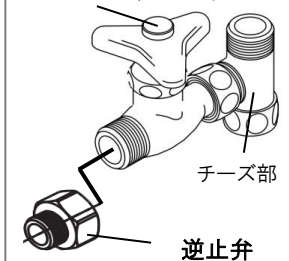
壁

15cm
以上

【逆止弁接続方法】

逆止弁は、止水栓に取り付ける。
※チーズ部分が必要なければ
外して取り付けてください。

USアングル分岐水栓



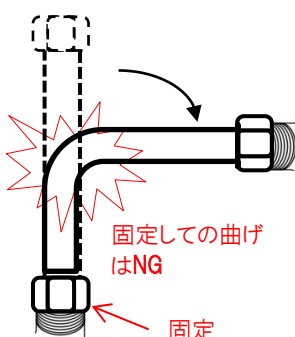
チーズ部

逆止弁

【フレキパイプ接続時の注意】

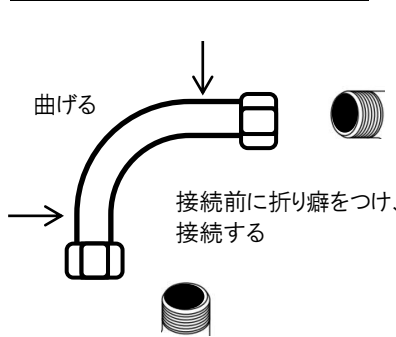
※次の事に注意し接続してください。

水漏れを起こすと、物的損害となりますのでご注意ください。



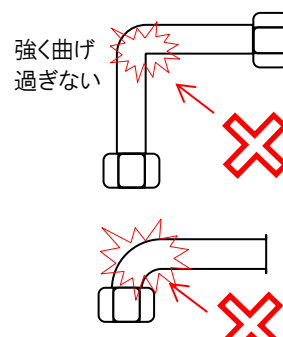
固定しての曲げ
はNG

固定

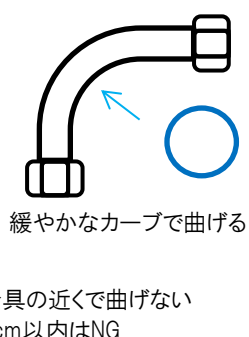


曲げる

接続前に折り癖をつけ、
接続する



強く曲げ
過ぎない



緩やかなカーブで曲げる

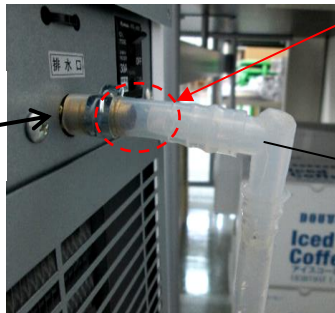
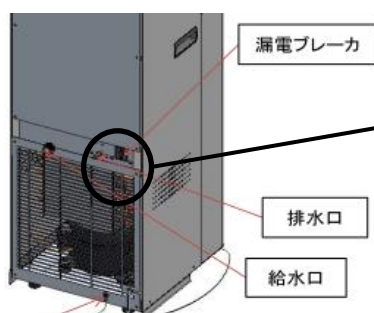
金具の近くで曲げない
5cm以内はNG

※排水処理のパテ埋め等は禁止です。必ず設置場所に合った部品を用意し接続してください。

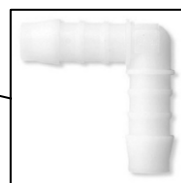
1) 設置場所に合わせ、排水ホースの長さを設定してください。
ホースの長さは最大2mです。それ以上の場合は配管工事をお願いします。(施工例参照)

2) 排水ホースを排水口に接続しクランプで止める。(ホース折れ防止はP8参照)

※排水ホースは必ず臭気対策及び逆流防止を必ず行ってください。



ホース折れに
注意のこと



推奨⑧
L型ホース継手

3) 設置場所の排水(排水溝)にホースを接続する。

※排水の位置は、必ずフローアより400mm以下の位置になるようにしてください。

U字管を使用する場合は、排水の立ち上げ位置がフローアより100mm以下にしてください。

【注意】排水ホースは、軟質のため折れることがあります。ご注意ください。

折れ等の可能性がある場合は、L型ホース継手等を使用し対応ください。

排水ホース接続の注意

●排水ホースを折ったり、ねじったりしないよう設置してください。シリコンホースを使用しているため無理な配回しをすると折れてしまいます。(L型ホース継手を使用して、折れ防止を行ってください。P8参照)

●ホースの上に物を置いたりしないでください。

●排水ホースは抜けないように処理してください。(クランプ又はインシュロック等)

●逆流が考えられる場合は、逆流しないよう処理をしてください。また、ホースの長さにご注意ください。

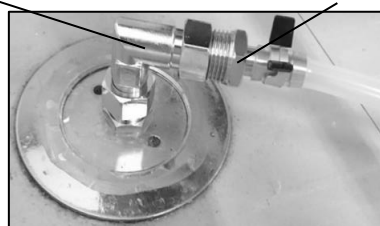
(排水ホース: 軟質のシリコンホース)

- ⑤両ナット付フレキ用エルボ
⑨ノンアスパッキン

推奨No.⑥ホースニップル

【推奨部品での施工例】

推奨No.⑫エルボネジ付きパイプ



L型ホース継手

排水ホース

排水

100mm以

400mm以下

フローア

排水口

444mm

【U字管接続方法】

U字管は排水口下の網目の端に固定する。※結束バンド等を使用のこと。
(L型ホース継手を使用しホースが折れないようにしてください)

L型ホース継手を追加

排水口

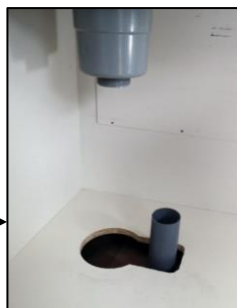
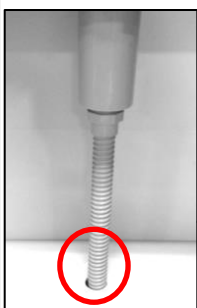
U字管

排水ホース

排水

【排水施工例】

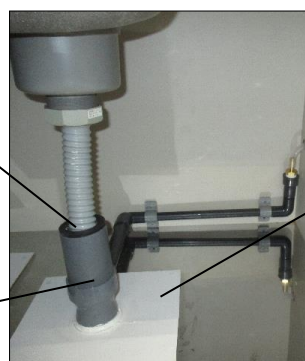
●穴をあけパイプを立ち上げ、合流チーズを取り付ける



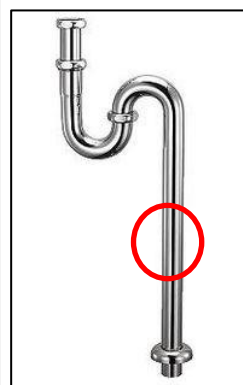
推奨④
排水アダプター①



推奨③
合流チーズ



推奨⑨
排水プレート



推奨⑦
差し込みチーズ



●差し込みチーズを取り付ける



推奨⑥
ホースニップルφ10.5

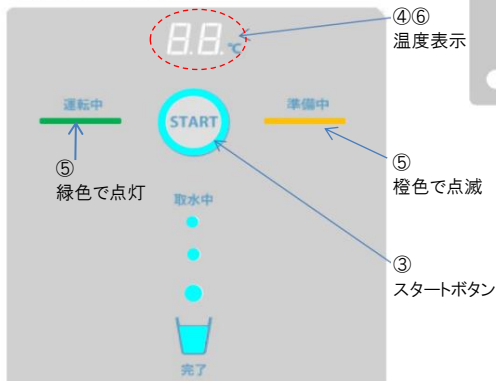


推奨⑫
エルボネジ付き

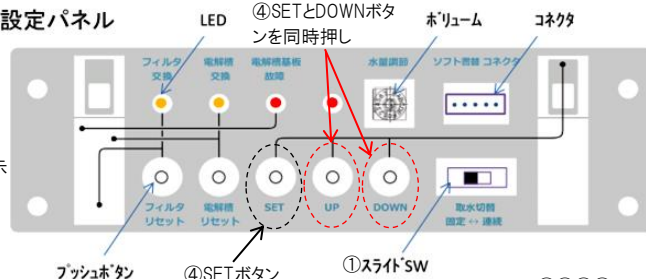


3 通水洗浄&動作確認

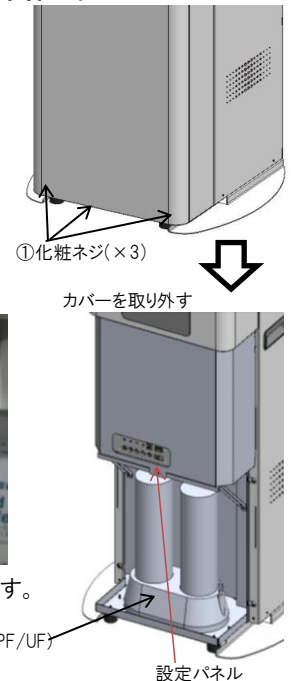
◇タッチパネル



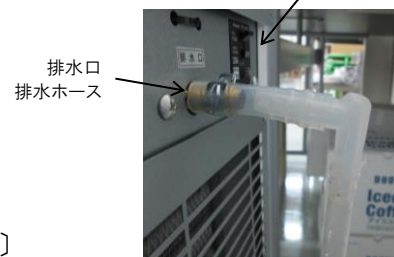
◇設定パネル



◇本体正面下



◇本体背面



【通水し洗浄および接続状態の確認をする】〔所要時間:約30分間〕

①底面の化粧ネジ3箇所を緩めてキャビネットを取り外し、設定パネルのスライドSWが連続になっていることを確認します。

②止水栓をゆっくりと開け、背面左側の漏電ブレーカーのスイッチをONにしてください。

タッチパネル表示の準備中が青色で点滅し給水が始まります。給水完了までは約5分かかります。

5分以上たてば給水途中でも、次の工程に進んでください。(タンクが満水になっても「準備中」が点滅しています)

③接続状態の確認

○**水漏れ確認**:分岐止水栓部、給水ホースの接続部、本器の底部に水漏れが無いことを確認してください。

○**吐水確認**:本器背面の漏電ブレーカーをOFFにし、2~3秒待ってから再度ONしてください。

500mlの容器を取水口の下にセットし、取水が止まるまでスタートボタンを押し続けてください。

取水中はランプが点灯していることを確認し、取水が止まったら500ml取水できたことを確認してください。

○**排水の確認**:トレイを外し、取水が止まるまでスタートボタンを押し続けてスムーズに排水できているか確認してください。

問題がなければ、トレイをセットし漏電ブレーカーをOFFにしてください。

④**排水モード**:漏電ブレーカーをONにし、温度表示が点滅してから約2秒以内に設定パネルのUPボタンとDOWNボタンを同時に押し始めてください。

温度表示に『F0』と表示されるまで2つのボタンを押し続けて下さい(約7秒間)。その後SETボタンを5秒間押すと温度表示が『F1』になり、タンク内の水を全て排水します。排水が終わると、温度表示が『F0』になります。『F0』になるまでお待ちください。

※排水モードによりタンク内部を洗浄しますので必ず行ってください。

⑤排水終了後、再度漏電ブレーカーを入れ直して給水します。

○**排水ホースの確認**:最後に本器の裏側に接続している排水ホースの折れ、潰れ、ねじれ等がないかを確認ください。

※設置直後、浄水器カートリッジの活性炭フィルターのバラつきにより、pHが水道水(原水)より高くなり稀に味がおかしいと感ずることがあります。

これは浄水器カートリッジの不具合ではありません。2回目の排水・給水を行うことでpHが下がります。(手順④~⑤を行う)

【設定の変更】

※設定の変更は、必ずお客様からのご要望があった場合にのみ行うようしてください。

◆出荷時の設定は、飲用水の温度『冷水温度:5℃』 / 熱水殺菌開始時間『温水循環(殺菌)時間:am2:00』に設定しています。

お客様のご要望で冷水温度または、温水循環(殺菌)時間に変更がある場合は次の手順で変更してください。

◇冷水の温度を変更

①設定パネルのSETボタンを押す。

②UPとDOWNボタンを押して冷水設定温度を設定する。

(5℃~20℃の範囲で変更できますが、給水温度が設定温度より低い場合は温めません。)

③SETボタンをタンク温度が点灯するまで押し続けてください。

◇温水循環(殺菌)時間を変更

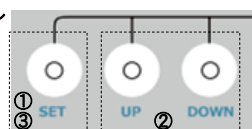
①設定パネルのSETボタンを繰り返し押す。

②UPとDOWNボタンを押して温水循環開始時刻を設定する。

(設定時刻の00分に開始します。例えば05に設定した場合、5時00分に温水循環を開始します。開始後2時間は使用できません。)

③SETボタンをタンク温度が点灯するまで押し続けてください。

設定パネル



◇タッチパネル



温度表示部

※エラーコードは、別紙『サービスガイド』を参照ください。

7SEG(青色)

通常運転時は冷水タンク内の水温を表示する。

異常時 ※エラーコードを表示する。

確認時。【通常時】から設定SWで切替。

↓タンク温度	点灯
↓冷水設定温度(℃)	早い点滅+下位ドット
↓現在時刻(時)	早い点滅
↓現在時刻(分)	早い点滅+下位ドット
↓温水循環設定時間(時)	早い点滅+上位ドット+下位ドット

※記載の接続部品は、全て本器には付属していません。設置場所に応じてご準備をお願いします。

(給) は給水部品

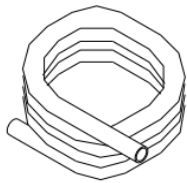
(排) は排水部品

(給) (排) は給水/排水部品

◎標準部品

①排水ホースφ12×9
(最大使用長さ:2m)
耐熱温度:-30~200℃

(排)



部品番号:92626120068

②フレキパイプS
(T14×13、G1/2)
長さ:1m-SUS

(給)



部品番号:91962100053

③HD用 1/2フレキシニップル
(SUS)G1/2-R1/2

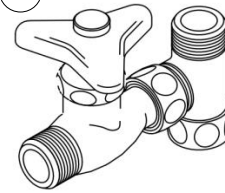
(給)



部品番号:91434100031

④USアングル分岐水栓

(給)



部品番号:16645110005

⑤両ナット付フレキ用
エルボ G1/2

(給)



部品番号:92628100127

⑥ナット付エルボ

(給)



部品番号:93540110019

⑦逆止弁

(給)



部品番号:92629100128

⑧ホースクランプNo.25
φ12用

(排)



部品番号:20100100002

⑨ノンアスパッキ

(給)

(排)



部品番号:91072145037

⑩U字管

【排水トラップ】

(排)



⑪かさ上げ台

(排)

【排水位置が高い場合に使用】
・400mm以上の場合他



高さ:
95~110mm(調整可能)

◎推奨部品

推奨①
合流チーズ

(排)



推奨②
排水アダプター

(排)



推奨③
排水アダプターL字

(排)



推奨④
ホースニップルφ10.5

(排)



推奨⑤
差し込みチーズ

(排)



推奨⑥
混合栓分岐ソケット

(給)



推奨⑦
排水プレート

(排)



推奨⑧
L型ホース継手

(排)



推奨⑨
臭気止め蓋

(排)



推奨⑩
エルボネジ付き

(排)



●標準部品

	部品番号	品名	備考
①	92626120068	排水ホースφ12×9	シリコンホース
②	91962100053	フレキパイプS (T14×13、G1/2)	(長さ:1m—SUS)
③	91434100031	HD用 G1/2フレキニップル	(SUS) G1/2—R1/2
④	16645110005	USアングル分岐水栓	
⑤	92628100127	両ナット付フレキ用エルボ G1/2	
⑥	93540110019	ナット付エルボST204-13 G1/2	
⑦	92629100128	逆止弁 G1/2	
⑧	20100100002	ホースクランプNo.25 φ12用	
⑨	91072145037	ノンアスパッキン	
⑩	—	U字管(排水トラップ)	TEMIにて加工が必要 ※
⑪	—	かさ上げ台(95～110mm)	TEMIにて加工が必要 ※ (幅の調整、組立て)

※在庫を持たない為、納期が1週間以上かかることがあります。早めにご連絡をください。

○推奨部品

	名称	単価(参考価格)	備考
推奨①	合流チーズ	@2,500～	
推奨②	排水(防臭)アダプター	@1,000～	
推奨③	排水(防臭)アダプターL字	@2,000～	
推奨④	ホースニップル	@400～	φ10.5
推奨⑤	差し込みチーズ	@4,000～	
推奨⑥	混合栓分岐ソケット	@2,500～	
推奨⑦	排水プレート(ゴムプレート)	@400～	
推奨⑧	L型ホース継手	@200～	φ10～φ12
推奨⑨	臭気止め蓋	@1,500～	
推奨⑩	ネジ付きエルボ	@500～	



- 排水ホースはシリコンホースを使用しているため、設置状態により折れることがあります。

- ・壁からの距離が狭く壁にホースが当たる場合。
- ・排水口の位置が離れている場合。
- ・排水口が高い位置にある場合。
- ・排水ホースを差し込む際、折れ跡が付いた場合。
- ・排水ホースがねじれて差し込んでいる場合。

以上のような場合、ホースの折れに繋がります。

ホースが折れた場合、熱水殺菌洗浄時に10リットル以上の水が排水され排水タンク側から水が溢れ、家財等に損害を与えてしまったり、本体内に水が入り込んで故障の原因となる事が考えられます。

排水ホース取り付け後に、必ず設置状態の確認をしてください。
設置してホースが折れそうであれば下記のL型ホース継手を使用し、設置ください。(L型ホース継手はホームセンター等で準備してください。)



L型ホース継手取付け手順

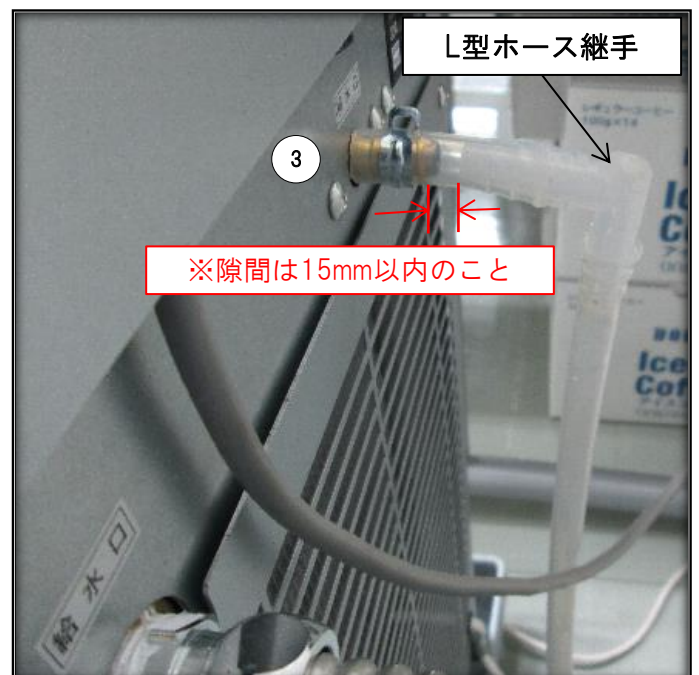
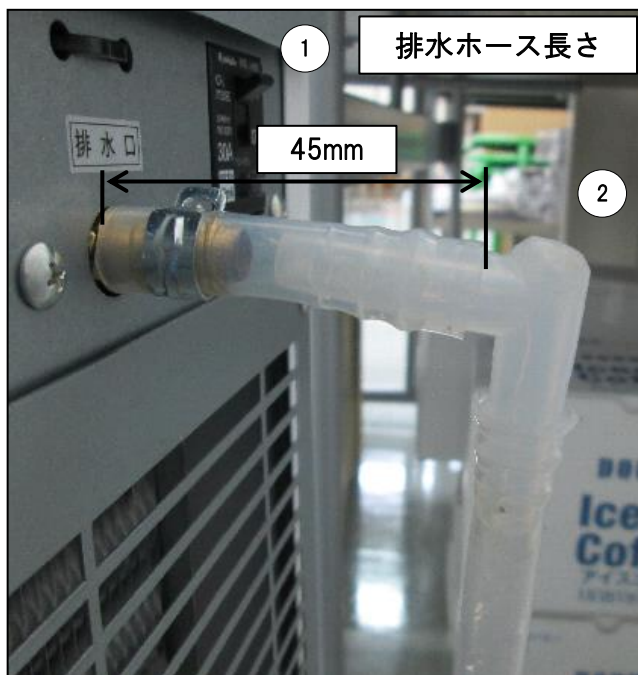
【手順】

- ①シリコンホースを45mmにカットし、L型ホース継手を差し込む。
- ②カットしたシリコンホースを差し込んだL型継手の片側に排水ホースを差し込む。
- ③サーバー本体の排水口に排水ホースをしっかり差し込みホースクランプで固定する。

この時、排水口にしっかり差し込みインシュロック又はクランプで固定する。

※シリコンホースは、45mm±5でカットしてください。長いと折れ、短いと抜けます。

排水口とL型ホース継手の隙間が15mm以内になるまで、しっかり差し込んでください。



●食堂の手洗い場横



●手洗い場の給水管に
アングル分岐水栓で分岐
し、フレキパイプで接続す
る。

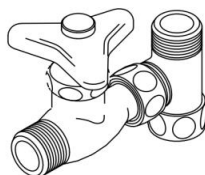
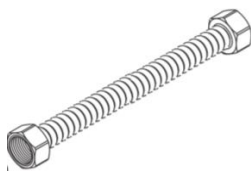
(フレキパイプ、継手、排水ホース使用)

★使用部品
【給水】

②フレキパイプS
(T14×13、G1/2)
長さ:1m-SUS

⑨ノンアスパッキン

④USアングル
分岐水栓



【排水】

⑧ホースクランプ
No.25

推奨⑦
差し込みチーズ

●排水管の低い位置に、
差し込みチーズを使い分
岐し、ホースニップルを
取り付け排水ホースを接
続する。

推奨⑥
ホースニップル φ10.5

推奨⑫
エルボネジ付き



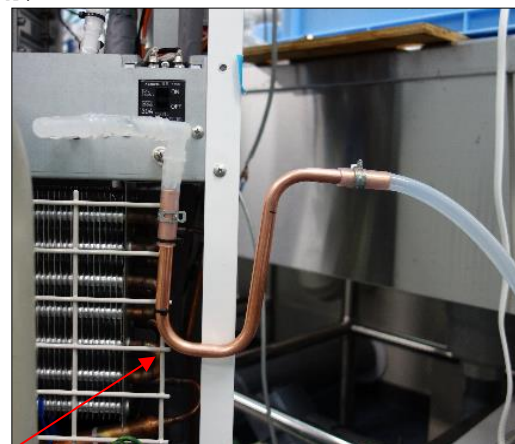
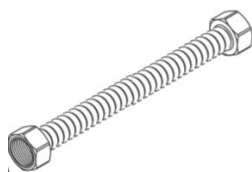
●給水器具等の設置跡に設置(フレキパイプ、継手、排水ホース使用)

★使用部品
【給水】

②フレキパイプS
(T14×13、G1/2)
長さ:1m-SUS

③HD用 1/2フレキニップル
(SUS)
G1/2-R1/2

⑨ノンアスパッキン



【排水】

推奨④
排水アダプター①

⑩U字管
【排水トラップ】

推奨⑧
L型ホース継手

⑧ホースクランプNo.25

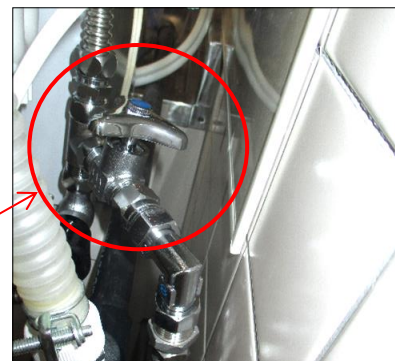
●給水器具の設置跡のため、給
水/排水の配管が出来ている。
U字管を使い、ホースを接続する。



●給湯室横



●給湯器の給水にアングル分岐水栓で接続する。
排水は、排水管に合流チーズを使い、ホースを接続する。



(フレキパイプ、継手、排水ホース使用)
★使用部品
【給水】

⑦逆止弁 G1/2 ⑨ノンアスパッキ

⑥ナット付エルボ

④USアングル分岐水栓



★使用部品
【排水】

推奨③
合流チーズ

推奨④
排水アダプター①

推奨⑨
排水プレート

推奨⑥
ホースニップルφ10.5

推奨⑫
エルボネジ付き



●休憩室うがい器横



推奨⑬
かさ上げ台

推奨⑫
エルボネジ付き

(フレキパイプ、継手、排水ホース使用)

★使用部品
【給水】

★使用部品
【排水】

④USアングル分岐水栓

推奨③
合流チーズ

推奨⑥
ホースニップルφ10.5

⑧ホースクランプNo.25
φ12用



●うがい器が設置しているため、給水/排水共に配管あり。
給水はアングル分岐水栓を接続する。排水は排水管に合流チーズを接続する。この時、排水管が高い位置(440mm)にあるためかさ上げ台を使い設置する。(かさ上げ台95mm)

●塩ビ配管での工事例（給水口から設置場所までが、1m以上離れている場合等）

工事例- I



使用部品

④USアングル分岐水栓



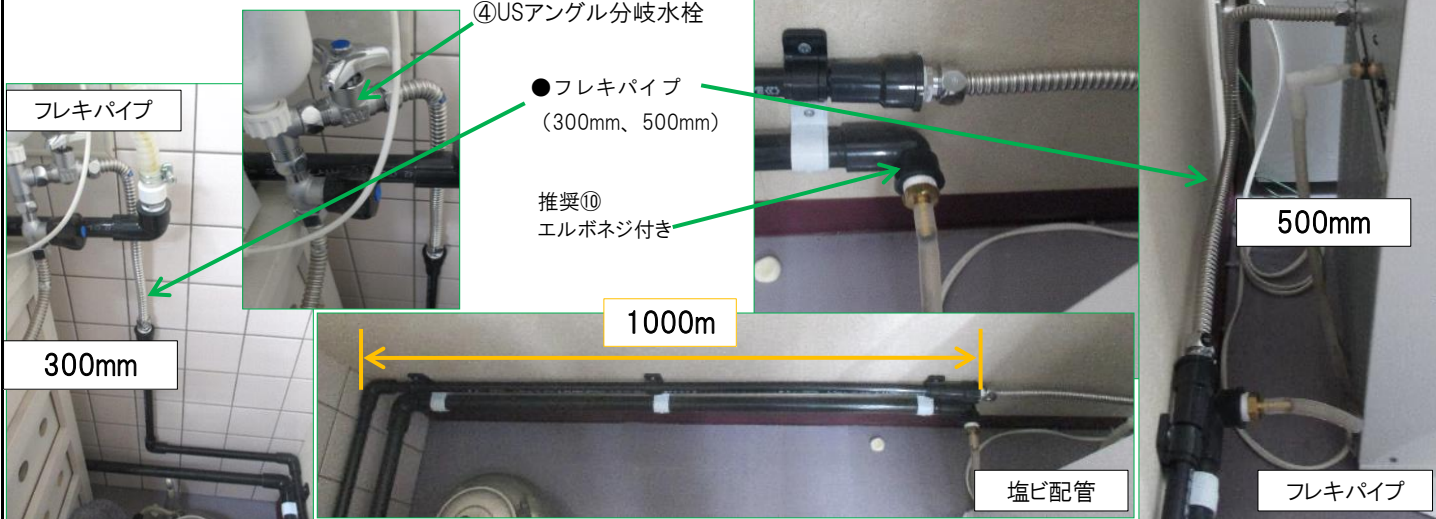
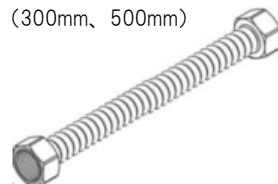
推奨⑩
エルボネジ付き



③HD用 1/2フレキシブル
(SUS)G1/2-R1/2



●フレキパイプ
(300mm、500mm)



工事例- II



使用部品



推奨⑩
エルボネジ付き



●フレキパイプ
(300mm、1000mm)



④USアングル分岐水栓

